

# たの①に想 な介護詩



テーマ

## 【思・想】

●選者・今月のテーマに寄せて

キムタクみたいな介護職になったかっただのに、気づいたらこんなヘラヘラ介護職になっちゃいました。最首悟さんが、はいこんちよら周年セミナーのときに、テキパキバリバリのカリスマ介護職がいたらそれはケアの世界ではあり得ないと思ってはいけな。的な話を植松聖の話の発展でしてくれました。あの講演を生で聞いたときに、ああ自分はこれでよかったんだと20年近く悩んでた想いが救われたというか長年引っこかってた疑問が腑に落ちた気がしました。

思い描く未来は大事だけど、それが正しいとは限らない。そんなことを誰かをきっかけにふと感じたときに希望は胸に高鳴って来ます。希望は掴むんじゃないやなくてやってくる。お年寄りも若い頃は介護を受ける自分を想像してなかったと思いますが、今こそ自分を肯定してくれるような人が近くにいてくれたら幸せだろうなあ。そんなことを言っていると僕はお年寄りと喧嘩ばかりしてますけどね(笑)

## 思ってた 未来とちがう 今の自分

【楽】小林敏志選



Aーじゃ 思いは示せど 想えない

藤脇聡 (40代・医師)

### 選者評

人工知能はどこまでいけるのか。夜勤明けでピック病のお婆さんにホッペを叩かれました。ムカついたのでオッパイを揉み返しました。壁に穴を開けたりコンセント壊したり車のワイパーを壊すピック病のお婆さんを、もしAーが介護したら馬鹿にしてんのかと叩かれてすぐに故障するだろうなあ。思い思われる関係をつくるには寝食を共にし肌と肌で触れ合わないとダメだと思います。ましてや自立した個人みたいな狭い考えじゃAーに介護は難しいでしょうねえ。



お互いに 思いあうのが 理想的

ライラック (60代・介護職)

この時が 思い出になると 露知らず

大西三等歌 (50代・介護職)

お！思わず いい考えに 手をたたく

ライラック (60代・介護職)

介護では 独りで思わず 想い合う

藤脇 聡 (40代・医師)

考える 思いつかない 介護詩を

ライラック (60代・介護職)

あと何回 思い出馳せて 衣替え

大雪 (70代・編集業)



退居して 思い出づくり 桜道

—— 紆余曲折 (50代・介護家族)

つれ愛の 離れて思う 優しき瞳<sup>め</sup>

—— 紆余曲折 (50代・介護家族)

思い出の 桜の花びら 風に舞う

—— 紆余曲折 (50代・介護家族)

思い合ひ 心が通じ 想い愛

—— 冗談は好子さん (50代・介護家族)

「フリー部門」小林敏志選

## 終の場で 面会でさぬは 愚の骨頂

—— 藤脇聡 (40代・医師)



鯉のぼり 夢と老い先も うなぎのぼり

—— ライラック (60代・介護職)

平和な日々 コロナと戦争 いつ終わる

—— ライラック (60代・介護職)

願いたい 早く終われと 新コロナ

—— ライラック (60代・介護職)

染井より 少し遅れる 八重の春

—— 大西三等歌 (50代・介護職)

来年も 見たいものだよ この十くら

—— とうかりん (40代・介護職)

散る十くら 風にまよいまゝ 春の宴

—— とうかりん (40代・介護職)

ウクライナ 助けてほしい おきな子を

—— とうかりん (40代・介護職)

ナゼんか ひらりと散って 春の舞

—— とうかりん (40代・介護職)

### 選者評

コロナ禍の終わりが見えずしんどい日が続きますが、いくつかの介護現場では、認知症介護と看取り介護から希望の光が差し込んでいます。人生最期の写真がマスク姿じゃ可哀想とマスク外して食事会で家族やスタッフと写真撮影したり、認知症の影響でマスク食べちゃうお爺さんはマスク外して職員と街を歩いています。マスク食べちゃうと伝えると町の人は100%許してくれます(笑)。すぐに大きく物事が変わるとは思いませんが、介護現場で目の前のお年寄りを大事にしていく小さな行動の数々がいつか当たり前に変わっていた日常の足がかりになるのではないかと少し希望を感じています。



選者小林敏志さんがよくわかる  
「在宅所はいこんちよ」特集号



アンコールブリコ  
特集・在宅所はいこんちよ

今だけ  
送料  
サービス!

定価550円(税込)

ご注文はブリコラージュ編集部へ

TEL: 03-5986-1777

FAX: 03-5986-1776

メール: web@nanasha.co.jp

